

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 5年 1月 日

協議会名: 旭川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
旭川中央交通株式会社	米飯地区と東旭川駅周辺間において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。	令和4年8月に地域住民との意見交換会を開催し、地域住民のニーズの把握に努めた。	A 計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。	A 米飯地区人口1人あたりの年間利用回数の実績は5.95回で、計画に位置付けられた目標の5.9回を達成した。	アンケート、意見交換会等の取組を通じて、実際に当該路線を利用している者の移動目的、用事の時間等を把握し、実態に沿った時刻等の設定を検討し、利用者の増に向けた取組を行うとともに、利便性の向上を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 5年 1月 日

協議会名:	旭川市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km ² 、人口は2022年4月1日時点で326,057人である。人口は2000年より減少に転じ、それにもなって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

事業実施の目的・必要性

旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km²、人口は2022年4月1日時点で326,057人である。人口は2000年より減少に転じ、それともなうって市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。

そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

人口1人あたりの年間利用回数5.9回

令和4年度事業概要

米飯地区と東旭川駅周辺間において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。

地域公共交通の現況

- ・ 旭川中央交通 (株) デマンド米飯線
- ・ 旭川電気軌道 (株) 75系統
- ・ 道北バス (株) 68系統
- ・ JR北海道 (株) 4路線

協議会開催状況

- 令和3年4月16日
令和3年度 第1回旭川市地域公共交通会議
－旭川市生活交通確保維持改善計画の承認
- 令和3年7月29日
令和3年度 第2回旭川市地域公共交通会議
－芦旭線の代替交通について
- 令和4年1月13日
令和3年度 第3回旭川市地域公共交通会議
－芦旭線の代替交通(豊里線)について
－デマンド交通米飯線の実績報告
－北海道運輸局補助事業の事業評価
- 令和4年6月30日
令和4年度 第1回旭川市地域公共交通会議
－旭川市生活交通確保維持改善計画の承認
- 令和5年1月16日
令和4年度 第2回旭川市地域公共交通会議
－地域公共交通計画の見直し等について
－デマンド交通米飯線の実績報告
－豊里線の実績報告
－北海道運輸局補助事業の事業評価

令和4年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

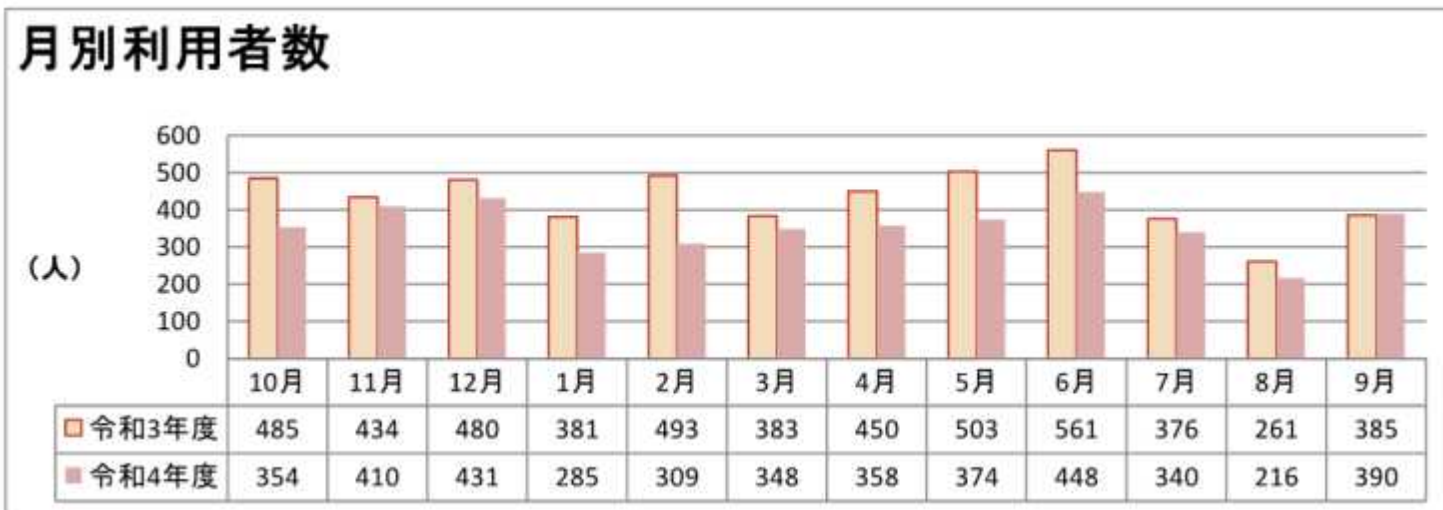
- ・予約締切後、お迎え到着時間のコールバック
- ・運行車両位置情報お知らせアプリ
- ・冬の山道でも運行に支障がないよう主として4WD車使用(ジャンボタクシー・マイクロバス)

2) 運行系統

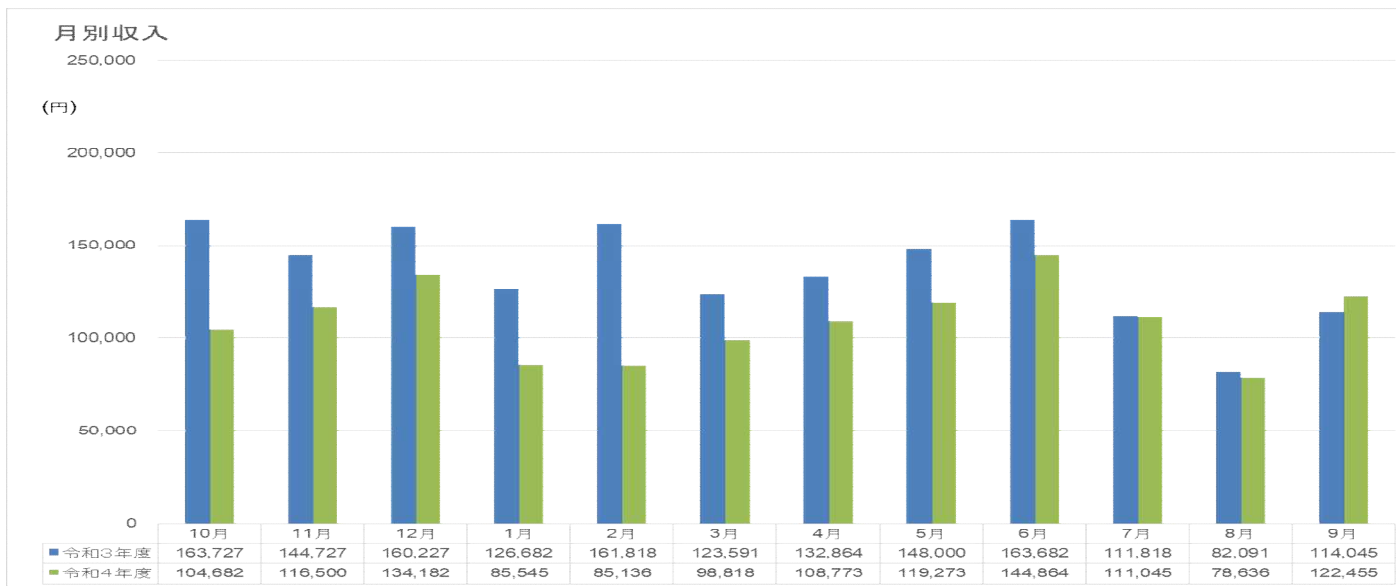
東旭川駅周辺施設～東旭川町瑞穂・米原・豊田・東桜岡～旭川21世紀の森



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。

R4地域内フィーダー系統旭川市生活交通確保維持改善計画(抜粋)

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和4年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該当 する要件 (別表7のみ)
旭川市	旭川中央交通株式会社	(1) 米飯線	旭川21世 紀の森	瑞穂・米原・ 豊田・東桜 岡	東旭川地 区	往 km 復 km	365 日	1,650.0 回		区域運行	②(2)	JR東旭川駅・東旭川5丁目 などへの接続	③

6) 目標・効果達成状況

実績は5.95回であり、計画に位置づけられた目標を達成した。

R4地域内フィーダー系統旭川市生活交通確保維持改善計画(抜粋)

2.1. 定量的な目標

(1) 事業の目標

人口1人あたりの年間利用回数

	年 度	回 数	内 訳
現状	R2(R1.10-R2.9)	5.9 回	(R2.4 人口:752 人, 利用者数:4,448 人)
目標	R4(R3.10-R4.9)	5.9 回	(R3.4 人口:740 人, 利用者数:4,366 人)

※R3年度については、年度途中のためR2年度を現状として整理する。

7) 事業の今後の改善点

アンケート、意見交換会等の取組を通じて、実際に当該路線を利用している者の移動目的、用事の時間等を把握し、実態に沿った時刻等の設定を検討し、利便性及び生産性の向上を図る。